



手足口病

- どんな病気？

夏かぜの一つで、その名の通り手、足、口に発疹ができるウイルス性感染症です。コクサッキーA16 A10、A6、エンテロウイルス71が主なウイルスです。

- 感染経路は？
 - ・飛沫感染
 - ・糞口感染(便の処理はしっかり！)
 - ・接触感染

- 潜伏期間：2～5日間

- どんな症状？

- ・口の中、手、手指、足、おしり、肘、膝に赤い発疹を認めます。
また、手のひら、足の裏に水疱を伴う発疹を認めます。
- ・37度台の微熱を1～2日間認めることができます（あまり高熱は認めません）
- ・主な症状が消失して1か月後に爪変形がみられることがあります。
- ・病原ウイルスが数種類あるため、同じ年に2度かかることもあります。

- 合併症：無菌性髄膜炎、脳炎、急性小脳失調症（高熱、嘔吐などを認める）

- 治療法

ウイルス感染なので、ありません。対症療法です。

口の中の湿疹が痛くて水分摂取ができないことがあります。刺激の少ない水分や食事を与え、脱水にならないように注意してください。

- 登園、登校はいつから？

熱が下がり、食事・水分が取ることができるようになれば、発疹が残っていても登園・登校できます。登園許可書は基本的に必要ありませんが、通園している幼稚園・保育園のルールに従ってください。